

午後一時から工場全部休業命令工事従業者を除く旨を發したの
で一部職工は激昂し事務所に押懸け不當の休業であるとして談判を開始し
騒いだが会社側では一旦發した命令はこれを取消せぬといふので已むなく職工は
退場した一方日本労働同盟因島支部では大阪聯合會の來援を得て対策
考究中であるが会社側では職工側が折合はねば依然休業を續けるもといと
いつてゐる。尚大阪鐵工所三庄工場でも同様の要求をなすも休業してゐる。

五月二十四日 大阪毎日新聞記事

職工閉門を迫り休業を主張する因島工場の争議

大阪鐵工所因島工場の労働争議は廿二日午後五時職工三百餘名が日本労働總
同盟因島支部事務所に集合し今後会社の處置如何によりては一ヶ月若くは二
月に亘つても争議を續けると決議し激勵演説をして散會した一方会社側でも
永續休業を決定し造船及出入渠船主に對し大々工事を遷延すると傳へ廿三日
も本門を堅く鎖して「本日より當分休業」の點紙を出した

新入社員も水もぬく餘り職工は午前七時辨當を携へ平常の如く出勤せんとした
工場入口對路で警官戎中の警官官隊に遮ぎられ之を突破して工場本門に押寄せ
騒ぐので西支造機部長は急意を續けるもこの休業の外ないが眞面目に従業者
を脅かすは後暴であるとして西支造機部長を捉へ兩三名の職工代表が談判を試み
致職工が取巻いて聲援し遂に光景を演出したが談判は二時間に亘つて持明かず